

# にほんご UP5☆

「にほんご UP5」は、子どもたちが「わかった、できた」を実感して、自分の進路に向かってさらに取り組めるように、また、外国につながるのある子どもと初めて関わる先生方であっても日本語支援が行えるよう、プロジェクト校と5つの支援方法を考えました。

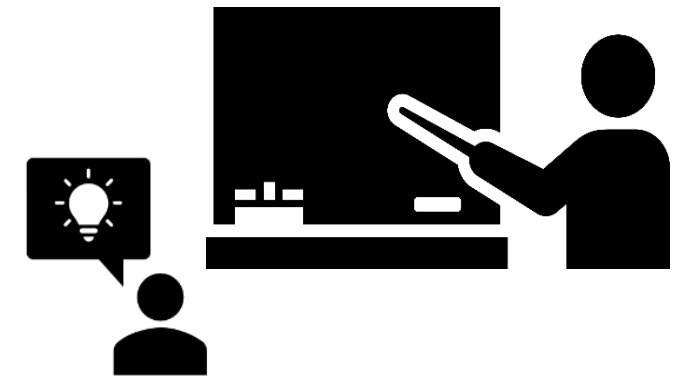
## ☆分かりやすい指示、言葉づかい

- ・子どもたちが授業に参加できるように、難しい言葉や抽象的な表現を避け、できるだけ分かりやすい言葉を使う



## ☆ルビをふる

- ・デジタル教科書のルビふり機能を活用する
- ・読む際の負荷を下げ、授業に参加できるような支援をする



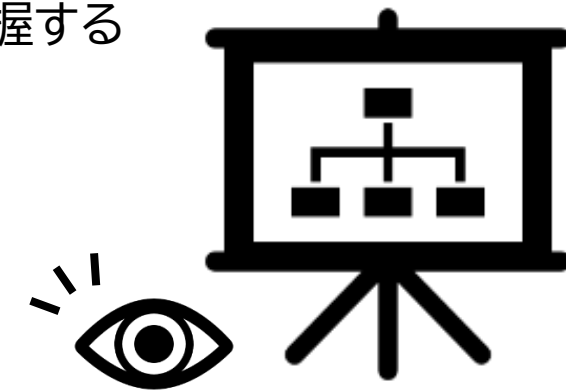
## ☆こどもの困り感、既習事項の把握

- ・子どもたちが「どこで、どんなことにつまずいているのか」を把握する
- ・こどものつまずきを確認しながら、授業を行う



## ☆ICTの活用

- ・子どもたちの表現方法の幅を広げる
- ・視覚的支援の一つの方法として活用する



## ☆理解支援※

- ・外国につながるのある子どもたちが授業にさらに参加できたり、学習内容を理解できたりするために日本語や学習内容の理解を促す支援を行う